

資料編

Appendix

| | | |
|-------------------|-------|-----|
| 能登川水車一覧 | | 186 |
| 能登川町史年表 | | 187 |
| 連歌師・宗祇法師資料 | | 188 |
| 方言 | | 189 |
| 道路の状況 | | 192 |
| 信号機設置状況 | | 192 |
| 能登川町管内一級河川一覧 | | 192 |
| 能登川町総合文化情報センターの概要 | | 193 |
| 総合文化情報センター配置図 | | 194 |
| きぬがさ山トンネル | | 196 |
| 能登川駅時刻表 | | 198 |
| 小学校の移り変わり | | 200 |
| 寺院・神社・教会一覧 | | 201 |
| 能登川町遺跡分布図 | | 202 |
| 能登川町文化協会加入サークル一覧 | | 204 |
| 小・中学校時間割表 | | 205 |
| 諸物価一覧 | | 206 |

能登川水車一覽

【敬称略】平成 4 年 2 月調査現在

| 利用河川 | 所在番地 | 水車開設者 | 開設年度 | 撤去年度 | 備考 | |
|------|---------------|-----------------|----------|---------|---------|--------------------------|
| 1 | 大同川 | 長勝寺 197 番地 | 清水六兵衛 | 明治 25 年 | 昭和 15 年 | |
| 2 | 大同川 | 神郷 35 番地の 1 (森) | 清水興三郎 | 明治 44 年 | 昭和 3 年 | 清水啓次郎 |
| 3 | 大同川 | 神郷 978 番地 (斗) | 福本惣助 | 明治 44 年 | 昭和 18 年 | 福本総治朗 |
| 4 | 大同川 | 種 934 番地 | 大橋彦助 | 天保 10 年 | 明治 15 年 | (屋号車屋) 大橋彦祐 吉田武次 |
| 5 | 大同川 | 種 1646 番地 | 大西市太郎 | 明治 20 年 | 昭和 18 年 | 辻 三郎 |
| 6 | 大同川 | 種 711 番地 | 辻政次郎 | 明治 25 年 | 昭和 17 年 | 上林千太郎 |
| 7 | 大同川支流 五位田川 | 今 221 番地 | 上林卯之介 | 明治 40 年 | 昭和 7 年 | |
| 8 | 大同川支流 五位田川 | 今 258 番地 | 奥野庄吉 | 明治 15 年 | 昭和 30 年 | 奥野惣吉 |
| 9 | 大同川支流 五位田川 | 今大將軍 943 番地の 1 | 同心組合 | 昭和 8 年 | 昭和 25 年 | 上林恒夫 |
| 10 | 躰光寺川 | 佐野 586 番地 | 石井増次郎 | 明治 28 年 | 昭和 19 年 | 石井 豊 |
| 11 | 躰光寺川 | 垣見 686 番地 | 桂田久治 | 明治 37 年 | 昭和 16 年 | 桂田久治郎 |
| 12 | 躰光寺川 | 垣見 655 番地 | 川嶋正太郎 | 明治 25 年 | 昭和 30 年 | 川嶋きぬ江 |
| 13 | 躰光寺川 | 垣見 857 番地 | 桂田基工門 | 明治 26 年 | 昭和 32 年 | 桂田光三郎 |
| 14 | 大同川支流 | 躰光寺 664 番地 | 中西竹次郎 | 大正 10 年 | 昭和 17 年 | 中西 実 |
| 15 | 大同川支流 | 躰光寺 756 番地 | 4 人組管理 | 大正 10 年 | 昭和 19 年 | 小島富士夫 |
| 16 | 大同川支流 | 小川 1290 番地 | 中田和平 | 明治 40 年 | 昭和 10 年 | 中田芳雄 |
| 17 | 新 川 | 川南 765 番地 | 東出組管理 | 大正初期 | 昭和 15 年 | (設置場所) 荻野次男 |
| 18 | 新 川 | 川南 767 番地 | 開米組管理 | 大正初期 | 昭和 15 年 | (設置場所) 木下富雄 |
| 19 | 新 川 | 川南 | 西出組管理 | 大正初期 | 昭和 15 年 | (設置場所) 宇佐神社裏 |
| 20 | 新 川 | 阿弥陀堂(井ノ口)266 番地 | 字精米組合管理 | 大正初期 | 昭和 15 年 | (設置場所) 木下一雄 |
| 21 | 大同川支流 | 新宮東 389 番地 | 字精米組合管理 | 大正初期 | 昭和 15 年 | (設置場所) 樋口英男 |
| 22 | 大同川支流 | 新宮東 436 番地 | 字精米組合管理 | 大正初期 | 昭和 12 年 | (設置場所) 若林康三 |
| 23 | 新 川 | 新宮西(里ノ内) | 8 人組精米組合 | 大正初期 | 昭和 10 年 | (設置場所) 下ノ堤防口 |
| 24 | 山田川 | 佐生 126 番地 | 松本基右工門 | 明治 30 年 | 昭和 24 年 | 松本恒男 |
| 25 | 山田川 | 佐野 871 番地 | 田附与七 | 明治 28 年 | 大正 13 年 | 田附与志雄 |
| 26 | 瓜生川 | 佐生 165 番地 | 田附太四郎 | 明治 5 年 | 昭和 15 年 | 田附邦雄 |
| 27 | 瓜生川 | 佐生 138 番地 | 田附徳兵衛 | 明治 18 年 | 昭和 36 年 | (屋号水車徳大) 田附徳松 |
| 28 | 瓜生川 | 佐野 843 番地 | 浅井興三松 | 明治 25 年 | 昭和 30 年 | 浅井洋一郎 |
| 29 | 瓜生川 | 佐野 842 番地 | 松野茂平 | 明治 27 年 | 昭和 32 年 | |
| 30 | 瓜生川 | 佐野 208 番地 | 3 人組管理 | 明治 44 年 | 昭和 18 年 | (三水車) 中井弥一郎 |
| 31 | 大門川 | 佐野 776 番地 | 須田金九郎 | 明治 36 年 | 昭和 19 年 | (設置場所) 樋ノ瓜の畠 |
| 32 | 瓜生川 | 猪子 1 番地 | 田中宇右衛門 | 明治初期 | 昭和 18 年 | 田中泰男 |
| 33 | 瓜生川 | 能登川 97 番地 | 宮尾久治郎 | 明治 10 年 | 昭和 17 年 | 宮尾久司 |
| 34 | 瓜生川 | 林 131 番地 | 森傳次郎 | 明治 40 年 | 昭和 30 年 | 森 敏治 |
| 35 | 瓜生川 | 山路 300 番地 | 河崎辰治郎 | 明治 33 年 | 昭和 36 年 | 河崎整三 |
| 36 | 瓜生川 | 林 271 番地 | 森文治郎 | 明治 30 年 | 昭和 17 年 | 森 文一 |
| 37 | 瓜生川 | 山路 233 番地 | 杉田太助 | 天保元年 | 昭和 30 年 | (屋号車屋太助) 杉田広司 |
| 38 | 瓜生川 | 山路 679 番地 | 字 4 組管理 | 明治 30 年 | 昭和 10 年 | (設置場所) 河崎申二 |
| 39 | 瓜生川 | 山路 774 番地 | 字城西組管理 | 明治 30 年 | 昭和 10 年 | (設置場所) 六反地田地 榎田喜一郎 |

能登川町史年表

| 西 暦 | 年 号 | 能登川のあゆみ |
|---------|------|----------------------------------------------------------|
| 1. 古 代 | | |
| B.C1500 | 縄文後期 | 正楽寺遺跡(種地先) 西日本最大級の縄文集落(発見 1994.11) |
| B.C 200 | 弥生前期 | 大中の湖南遺跡(水稲農耕) |
| B.C 50 | 弥生中期 | 小川・宮ノ前遺跡 |
| A.D 200 | 弥生後期 | 中沢・斗遺跡 |
| | 古 墳 | |
| 500 | 飛 鳥 | 織山系に多くの古墳が作られる |
| | | 横穴式石室 山面古墳 |
| 600 | 白 鳳 | 巨石崇拜(岩神 岩船 盤座) |
| | | 法堂寺遺跡(佐野)塔礎石 |
| 700 | 奈 良 | 白鳳期の鴟尾や瓦出土 |
| | | |
| 724 | 神亀1 | 聖武天皇より神崎連の姓を賜る |
| 744 | 天正16 | 沙々貴山君 功により叙位を受ける |
| 915 | 延喜15 | 抱瘡大流行 |
| 917 | 延喜17 | 旱天のため大凶作 |
| 927 | 延長5 | 延喜式の神名帳に乎加神社が式内社として記載されている |
| 1156 | 保元1 | 崇徳上皇 源為義を召し、近江伊庭荘を賜う |
| 2. 中 世 | | |
| A.D1181 | 養和1 | 源氏の軍勢、伊庭家忠・重頼討死 |
| 1221 | 承久3 | 承久の乱に近江守護佐々木広綱、信綱活躍する |
| 1347 | 正平2 | 南朝軍として佐々木氏頼は伊庭氏と共に参戦 |
| 1350 | 観応1 | 近江守護代伊庭六郎左衛門尉 信楽征伐などに活躍 〔伊庭氏 全盛期 (伊庭和幸 大徳寺大壇那となる)〕 |
| 1421 | 応永28 | 宗祇法師(連歌師)伊庭庄で生誕(～1502) |
| 1460 | 長祿4 | 佐々木六角政義が伊庭氏を討つ |
| 1467 | 応仁1 | 応仁の乱 六角高頼、伊庭貞隆等は西軍(山名側)として活躍・六角氏は東軍(細川側)・西軍は分かれて政争の日々が続く |
| 1502 | 文亀2 | 佐々木高頼 守護代伊庭貞隆を討つ 貞隆再起して高頼を追討、宗祇法師死去 |
| 1516 | 永正13 | 伊庭貞説、佐々木定頼と戦う |
| 1520 | 永正17 | 伊庭氏、九里氏と共に観音寺城を攻めるも敗る |
| 3. 近 世 | | |
| A.D1570 | 元龜1 | 伊庭より助右衛門外2人 織田信長の人質となる |
| 1571 | 元龜2 | 新村城、小川城、信長に降る |
| 1576 | 天正4 | 安土城築城 信長、伊庭山で鷹狩をする |
| 1582 | 天正10 | 本能寺の変、信長死去 |
| 1600 | 慶長5 | 関が原合戦、井伊直政が佐和山城主となり能登川地方を領地とする |
| 1615 | 元和1 | 井伊直孝、彦根城主となり、当地を支配する |

| 西 暦 | 年 号 | 能登川のあゆみ |
|-----------|------|------------------------------------------|
| 1634 | 寛永11 | 小堀遠州、伊庭御殿を作る |
| 1642 | 寛永19 | 長勝寺と垣見・佐野の水争い |
| 1672 | 寛文12 | 栗見十郷共有地開拓、各村2戸移住し、栗見新田開村 |
| 1685 | 貞享2 | 本多忠平郡山城主、金堂、神郷外11村を領有する |
| 1688 | 元禄1 | 栗見新田検地(以後各地)が行われる |
| 1698 | 元禄11 | 三枝守相 伊庭の領主となる |
| 1724 | 享保5 | 柳沢吉里郡山領主となり、本多領を引継ぐ |
| 1735 | 享保20 | 彦根領下に倭約令を出す |
| 1770 | 明和7 | ひでり続き凶作 |
| 1771 | 明和8 | 躰光寺と垣見の水争い |
| 1773 | 安永2 | 6、7月大雨、愛知川堤決壊 |
| 1774 | 安永3 | 6月 大風で大凶作 |
| 1780 | 安永9 | 福堂大火 |
| 1783 | 天明3 | 未曾有の大凶作 |
| 1787 | 天明7 | 11月、湖水氾濫 飢饉 疫病流行 |
| 1791 | 寛政3 | 大風で被害甚大 |
| 1801 | 享和2 | 愛知川洪水 |
| 1805 | 文化2 | 伊能忠敬、当地を測量する 大地震起る |
| 1806 | 文化3 | 栗見出在家開発される 福堂外5村から各7戸、計42戸が移住する(西村助之丞指揮) |
| 1819 | 文政2 | 大地震 |
| 1821 | 文政4 | ひでり |
| 1824 | 文政8 | 大洪水 |
| 1833 | 天保4 | 大凶作で、彦根藩防穀令を出す(他領への売出し禁止) |
| 1836 | 天保7 | 洪水、冷夏、凶作、商業不振 |
| 1841 | 天保12 | 種と今の水争い |
| 1848 | 嘉永1 | 大洪水 |
| 1860 | 万延1 | 桜田門外の変 井伊直弼暗殺される 大洪水 |
| 4. 明治時代以後 | | |
| A.D1869 | 明治2 | 伊庭領主 三枝氏版籍奉還を願い出る |
| 1870 | 明治3 | 暴風雨 大風水害 |
| 1871 | 明治4 | 廃藩置県(当地は彦根県から大津県となる) |
| 1872 | 明治5 | 大津県と長浜県が合併し、滋賀県となる |
| 1873 | 明治6 | 各村に学校開設、能登川・安楽寺・須田が伊庭村より分村 |
| 1879 | 明治12 | 新村・宮西村が併合して新宮村となる |
| 1882 | 明治15 | 蒲生郡須田村を神崎郡に編入し、南須田村と称する |
| 1889 | 明治22 | 東海道線能登川駅開設 |
| 1896 | 明治29 | 大雨洪水、湖水氾濫、善勝寺山崩れで埋没 |
| 1904 | 明治37 | 暴風雨強勢、被害甚大 |
| 1912 | 明治45 | 大暴風雨 |
| 1917 | 大正6 | 当地で陸軍特別大演習 天皇臨御 |
| 1934 | 昭和9 | 室戸台風 |
| 1942 | 昭和17 | 2月、5か村合併して町制施行 |
| 1943 | 昭和18 | 合併庁舎を現中央公民館の地に移築 |
| 1944 | 昭和19 | 東学区の本町区を南学区に編入替え |

| 西 暦 | 年 号 | 能登川のおゆみ |
|------|------|---------------------------------------------------------|
| 1946 | 昭和21 | 小中の湖干拓完了、入植始まる |
| 1947 | 昭和22 | 初の町議会議員選挙、町営能登川病院開院 |
| 1953 | 昭和28 | 台風13号、神郷、福堂、干拓堤防決壊 |
| 1958 | 昭和33 | 栗見橋竣工、大中の湖干拓工事起工 |
| 1959 | 昭和34 | 能登川病院新築工事竣工 |
| 1961 | 昭和36 | 第2室戸台風で被害甚大 町章決まる |
| 1965 | 昭和40 | 学校給食センター完成、有線放送開始 |
| 1967 | 昭和42 | 大中の湖干拓完工 北部集落(大中)当町に編入 |
| 1969 | 昭和44 | 能登川町農協合併発足 |
| 1971 | 昭和46 | 町役場新庁舎竣工 |
| 1974 | 昭和49 | 町のシンボル(松・菊・きじ)決まる |
| 1975 | 昭和50 | 中央公民館竣工、町民憲章制定 |
| 1978 | 昭和53 | 第一幼稚園、勤労者会館竣工 |
| 1979 | 昭和54 | 町民体育館、第二幼稚園竣工 |
| | | 福岡県篠栗町と姉妹都市提携、高校校体会場 |
| 1980 | 昭和55 | 町民武道館、老人福祉センター竣工 町歌制定 町民グラウンド竣工 町人口2万人突破 保健センター竣工 |

| 西 暦 | 年 号 | 能登川のおゆみ |
|------|------|----------------------------------------------|
| 1981 | 昭和56 | カナダターバー町と姉妹都市提携 国民体育大会ボクシング競技開催 |
| 1983 | 昭和58 | 学校給食共同調理場竣工 |
| 1984 | 昭和59 | 北海道江差町と姉妹都市提携 |
| 1985 | 昭和60 | 県消防学校が神郷地先に竣工 |
| 1987 | 昭和62 | 文化小劇場 やわらぎホール 竣工 |
| 1989 | 平成 1 | 防災コミュニティセンター竣工 やわらぎの郷公園竣工 |
| 1990 | 平成 2 | 台風19号で今・栗見新田地先の愛知川堤防決壊、被害甚大 |
| 1991 | 平成 3 | 温水プール竣工 11月3日町制50周年記念式典 NHKのど自慢大会開催される |
| 1992 | 平成 4 | 2月11日町制50周年記念シンポジウム 4月1日「能登川水車とカヌーランド」完成 |
| 1994 | 平成 6 | シルバー人材センター発足 |
| 1995 | 平成 7 | 4月1日新能登川病院開院 |
| 1996 | 平成 8 | 県営ふるさと農道(きぬがさ山トンネル)着工 ふれあい運動公園完成 |
| 1997 | 平成 9 | 11月総合文化情報センター竣工開館 |

連歌師・宗祇去師資料

「宗祇の父と母と」より / 広島大学名誉教授・文学博士 金子金治郎氏

(一) 種玉宗祇菴主肖像贊(翰林胡蘆集卷十一)

宗祇が没して五年後に後継者の宗碩という人が、宗祇の弟子である三条西実隆を通じて、景徐周麟(相国寺の寺主・五山文学者)に肖像の贊を書いてもらったもの。永正六年(一五〇七)完成。宗祇の出自に関する資料としては最も古く、信用性がある。

(1) 夫神道八本朝二始マリ、変ジテ和歌トナレリ。万葉ノ前二倡リテ、古今ノ後二行ハレタリ。

(2) シテ佛法ハ我が国ニ入リテ、分レテ釈氏ト作レリ。菟浦ノ中ニ在リテ、天地ノ間ニ満チタリ。

(二) 蒲生智閑宛、宗祇書

蒲生郡日野城主蒲生智閑宛の宗祇書簡明応元年(一四九二)二通があり、その一通に、宗祇の出自を解く鍵がある。即ち近江守護、佐々木六角氏の館へ親の時に連れられて伺候したと記している事は、親が六角の重臣であったことを示し、それが守護代伊庭氏であると推定された。

【原文】

先度八木拝領之時
御返事申候 仍已前申候
伊勢之人神戸方之事候
連々罷下候へと被申候 親
之時ちかつき候し間左様之
儀候哉 度々音信候間 強
可下存候 但宗益 先彼
地へ罷越候て左右可申由
其様へ定而可申候 我等事も
承候て可罷越存候 然者
其方までの路次大儀候 三
富殿二可申入存候 万事
被仰合て可懸候事候 一向
御扶持を可憑存候 其為
如此申入候 近日仕候発句
染て待心や木々の初時雨
又兼載はあは地まてのほり候由承候
兵庫までと申候 宗長は来月
初京着可仕候 恐々謹言

九月(晦)日 宗祇(花押)
蒲生殿 御宿所

【大意】

先般 お米を頂戴した時
御返事申しましたが、以前申しました
伊勢の人で神戸に居る人の事です
度々私に伊勢へ下るよう申されます。親
の時代に、私もお会いしましたので、お
呼びになるのです。度々お便りがあるの
で、私も必ず
参るつもりです。但し宗益が、ます
神戸へ参り、どうするか決める由です
(結果は) そちらへも必ず申しましよう。
私の方も
それを聞いた上で神戸へ参るつもりです。
となれば、
そちらまでの道中が大変です。三
富殿にお願いするつもりです。万事
は御相談頂いた後、取りかかる事にしま
す。ひとえに
御助力をお頼みます。そのため
かように申し入れます。近日詠んだ発句
染て待心や木々の初時雨
又兼載は(阿波から)淡路まで参つた由
です。
兵庫までと申しています。宗長は来月
初め京着のはずでございます。恐々謹言

九月(晦)日 宗祇(花押)
蒲生殿 御宿所

方言

滋賀県神崎郡能登川町乙女浜・今堀 宗三郎

ふるさとの方言について

私達のふるさとは、古来より語り継がれた数多くの方言があります。

明治、大正、昭和の初期位までに生れた人達は、今でも日常会話の中でよくこの方言を使っている事があります。又、その方が最も自然体で親しみ易く、意味もよく判るのです。

ところが、現在の若い年代層、特に小中学生以下の子供達、更に今後生まれてくる人達にとって、その土地の方言を話せる人は、おそらく皆無になる事が予想されます。

この事は、非常に残念に思いますので、余暇を利用して、思い出した方言の一語一語を書き残し、この方言集を作成したものです。この事は言葉の遺跡発掘であり、もう一度この方言の良さを見直し、後世に伝えたいものです。

平成九年 春

能登川町乙女浜 385 今堀 宗三郎

【あ】

| | |
|-----------|------------------|
| ああえら | 大変疲れた |
| あいさ | 明日 |
| あいそがつきる | 話にならない |
| あいそもない | 愛想なし |
| あいまち | けが |
| あかいまき | 赤い腰巻 |
| あかせん | だめだよ |
| あかほど | ほんのすこし |
| あかんこっちゃ | 駄目な事だ |
| あかんやいつ | 駄目な人 |
| あこかい | だめだ |
| あさってむいてらる | 人の言う事をきかず横をむいている |

| | |
|------------|--------------|
| 汗みどろ | 汗びっしょり |
| あっちゃべた | あちら側 |
| あてこすり | 皮肉 |
| あのいそん | あの人(目上) |
| あのしいらあ | あの人達 |
| あのじん | あの人(目下) |
| あのんら | あの人達 |
| あびる | 泳ぐ |
| あへる | あひる |
| あほういうてさんすな | 馬鹿な事言っではいけない |
| あぼたん | 馬鹿者 |
| あらかた | だいたい |
| あらかない | あらっぽい |
| あらしたい | 希望する言葉 |
| ありがたいな | よい天気ですね |
| あれふんばい | 驚いた様子 |
| あるか | ないだらう |
| あわさい | 間 |
| あをなげ | 上向き |
| あんない | まつい |
| あんばよう | 具合よく |

【い】

| | |
|-------|-------|
| いかあげ | 尻上げ |
| いかい | 大きい |
| いかいおお | 大きな面積 |

| | |
|----------|--------------|
| いかな事暑い | 大変な暑さだ |
| いかなならん | 行かねばならない |
| いげ | 湯気 |
| いけど | 井戸 |
| いごけん | 動けない |
| いざひき | 漁法 |
| いしかけ | 石垣 |
| いしな | 石 |
| いしびしょ | 魚の一種 |
| いじこ | 穀物の容器(わら細工) |
| いちよびる | 調子にのりふざける |
| いっかどしょう | ずい分高価なものでしょ |
| いっせつ | 常に |
| いってんぱり | 何度も同じ事を言う |
| いなはった | 帰られました |
| いにさらせ | 帰ってしまえ |
| いぬ | 帰る |
| いやはや | 思い掛けない |
| いらんこっちゃ | 無駄なことだ |
| いらんこというて | つまらぬ事言っごめんな |
| ごめんなやほん | さい |
| いんざや | いいえ |
| いんごろもち | もぐら |
| いんだり | 米の検査に不合格になった |
| いんでこまそ | 帰ってやろう |
| いんでござい | 帰りなさい |

【う】

| | |
|------------|--------------|
| うけんこ | めだか |
| うすすり | もみすり |
| うそのかわ | ウソ |
| うたてい | うるさい |
| うちね | 自分の家 |
| うちやけてくる | 大降りがする |
| うつける | あなどる |
| うつぶく(うつぶせ) | 下を向く |
| うまかけ | 競馬 |
| うます | 物を煮て火を止めそのまま |
| | しておく |
| うら | 自分のこと |
| うらべら | 裏側 |

【え】

| | |
|-----------|--------------|
| ええ | 家 |
| ええあげる | へどあげる(嘔吐) |
| えりこうな | 食欲な |
| えろうおきばりやす | よく働きますね 何をおっ |
| ようあんた | しゃいますかあなた |

【お】

| | |
|----------|------------|
| おいでやす | いらっしやい |
| おおかた | 大体 |
| おおさわな | 大げさな |
| おおつもごり | 大晦日 |
| おがみとおる | かまきり |
| おきなはい | やめなさい |
| おくどさん | 物を煮る場所 |
| おいしい | 汁 |
| おしまいやす | 今晚は |
| おぞい | 恐ろしい |
| おぞいごれ | 恐ろしい人 |
| おたいてやおせん | 人の苦勞をねぎらう事 |
| おとつい | 一昨日 |
| おとましい | 申し訳ない |
| おぼたい | 重い |
| おまはん | あなた |
| おわいかけぞうれ | 葬式におくれる |
| おんた | 雄 |

【か】

| | |
|---------|-------------|
| かあら | 魚の一種 |
| かいくれ | 結局 |
| がいさく | 思いがけない沢山費した |
| かいせみよ | 渡しなさい |
| かいつう | かいつぶり |
| がいるこ | おたまじゃくし |
| かけず | 掛軸 |
| かざ | 匂い |
| かざがく | におう |
| かしん | おとなしいかこい子供 |
| かたいだある | 傾いている |
| かたちんば | 左右ちがう |
| かだな | かだな |
| かなん | 要領のよいずい人 |
| かなんこっちゃ | 嫌です |
| カフェー | 困った事だ |
| からすがい | キャバレー |

| | |
|------|----------------|
| がらんど | 指先等がケイレンをおこす事 |
| かりずて | カラッポ |
| | 秋の刈入れが終り夕食会をする |
| かるこ | 運搬具(わら細工) |
| がんぞ | 小ブナ |

【き】

| | |
|---------|------------------|
| きおた | 予想以上によかった |
| きつついきらい | 大嫌い |
| ぎつとうなじん | 言い出したらきかぬ困った人 |
| | |
| きびしょ | 茶器、きうす |
| きびす | かがと |
| きめつき | 鋤で土に割れめをつける(農作業) |
| | |
| きやはれんな | こられませぬ |
| きやらほこたん | 強く乾燥した状態 |
| ぎゃんのうほい | ジャンケンポン |
| ぎよっぱ | ゲップ |
| きりばん | まな板 |
| ぎんだあ | 腹の悪い二枚舌 |

【く】

| | |
|---------|-----------------|
| くいもん | えさ |
| くくむ | 口の中に水等を入れる |
| くずるべい | のろま |
| くすんかんとも | 全然返事をしない |
| いわれん | |
| くすんべえ | 音のないおなら |
| くだいね | 下さい |
| くてみさい | 食べてみなさい |
| くべる | 薪等をもやす |
| くらい | (例)するくらい・平気でできる |

| | |
|-----------|-------------|
| くらわす | 強くなぐりつける |
| くりちんもうてらる | 非常に苦しんでいる様子 |
| くりほね | 蛙眸 |

【け】

| | |
|---------|------------|
| げ | (例)ちがうげ |
| げ | 景色(例)雨げ、東げ |
| げえこう | お寺参りより帰る |
| げえとる | 巻脚絆 |
| けかでか | かえって |
| けがさいたある | もよおしてきた |
| げっちゃ | 一番じり |
| けつのあんかん | 肛門 |
| けつべた | お尻 |
| けつまづく | つまづく |

けとん
げな
けなりい
けぶたい
けぶりだし
けんどか

【こ】

こうと
ごうわかす
こえだし
こおらい
こぎわ
こけさい
ござった
ござらせん
ござんすな
こじわり
ごすのどてんじょ
こぜわしい
こつきわるい
こっちいござい
ごっつおさん
ごつとい
こつとり
こないだ
こなかじ
このん
こびりついたある
こぶらがえり
米かし
ごめんやす
ごもくわら
こらいてやほん
こわがよい
こんとけ
ごんぼ

【さ】

さい
ざいしょうち
さおた
さかとんぼり
さからう
さぐりん
さずんだ
サデ
さなぶるい
さびらき
さぶい
さんぢらかし

さんすな
さんによう
さんまい

【し】

じきに
したみ上げ
しとしけない
しなぼったある
しばく
しびと
しびる
じべた じきべた
しまいてきた
しまえる
しもって
ジャケット
しゃっぼんぎく
しゃばふさぎ
じゅるみそ
じゅんさいな
じゅんじゅん
しょう
しょうことなし
しょうしくさい
じょうずう

毛糸の肩掛
そうな
羨ましい
けむい
煙突
けれども

地味
腹立てる
下肥のくみ取り
とうもろこし
境い目
横になって寝なさい
来られた
いません
来てはいけない
水田の排水溝
始末におえない
あわただしい
愛想が悪い
こちらへ来なさい
ご馳走さん
何時も
全部
この間
農作業
この人
強くついている
ねんざ
米をとぐ
今日は
ゴミだらけ
ごめんなさいね
節回しが上手
来てはいけない
ごぼう

おかず

字中
失望する
まっさかさま
冗談言ってじゃれる
手で魚を捕る
火の勢いが弱まった
漁具
苗代の最後の苗をとる
苗代の苗を初めてとる
寒い
部屋いっぱいに散らかして
いる

してはいけない
勘定
墓地

すぐに

田の排水溝
恥かしい
しおれている状態
たたく
遺体
もらす
地面
しぐれてきた
終る
しながら
毛糸のセーター
百日草
邪魔者
ぬかるみ
よいかげんな・だらしない
すきやき
そっくり
仕方なく
歯がゆい
いつも

じょうずな事
じょうずもん
じょうせん
じょうできやな
しょうまいか
じょうら
しょうらかしい
しょからい
しょだいない
しょて
しょんべん
しょんぼけ
しらじゃけたある
じらたい
しりふきがみ
しりべた
しるのみ
しるふみ
しわらくさい
しんどうらい

【す】

ずいが
すいこうな
すいな柄
すいばら
すうたる
すすき

すすはき
すてんしょ
すなこの下
ずば

すばったある
すぼりきんちゃく
すまんなあえ
すみくた
すもんとり
すりかけぼんかけぼん
ずんど

【せ】

せちべん
せつろしい
せんぐり
せんち
せんちむし
せんど
せんど言うたった
せんとこ

【そ】

そうれ
そっぼこだに
そな
ぞんぞ

【た】

たいがいせいよ
たいてやない
たいも
だご
たごけ
だしおけ
だしかい
たねがら
たのかぶ
たのし
たばえる
だば貝
たべさい
たまがき
だれやったい
たながれ
だんない

変な話
お世辞のうまい人
飴の一種
大変良くできているね
しましようか
あぐら
普通の仕事が出来ぬ
塩辛い
だらしない
初め
小便
小便所
色が変わって白くなる
下品でいやらしい
トイレットペーパー
おしり
おつゆの具
しろかき
変な嫌なにおい
集中豪雨

さすが
生意気な
いきな柄
とげ
吸ってあげる
ずばを野積したもの(次頁
参照)

すす払い
駅
床下
生わらを乾燥するため、数
把をくくり田に立てたもの
しおれている
ひどくしおれている状態
すみませんね
すみっこ
相撲取り
頭を半分割っている事
方向

つめ
とても忙しい
順番
大便所
便所にわく虫
つかれ
思いきり言った
やめておこう

葬式
便利の悪いところ
そうす
寒気

いいかげんにしなさい
相手をねぎらう意味
里芋
だんご
肥桶
肥桶の大きなもの(運搬用)
かまわない
菜種木
稲を刈り取った株
たにし
物をたくわえる
貝の一種
食べなさい
漁法
誰でしたか
ツララ
かまわない

【ち】

ちごはこ
ちちんこにぎり
ちびたい
ちやがい
ちやづけぢやわん
ちやっチャこぶり
ちゅんちゅん
ちょうず
ちょうめん
ちょうり
ちよかあ
ちよこちよこさいさい
ちよぼっと

【つ】

づいが
づう
づうがうつ
つづこなむ
つばくら
つづがわ

つらついたの
つれてつたる
つんのし

【て】

てえ
てけんぼ
てしお
てっころぼん
てとつてくれ
てっぺん
てのくぼ
てまえら
てまん
電気の球
てんこち
てんこもり
電信棒
でんち
てんじょうつく

【と】

どうなるい
とことん
どしんけん
どだいかいもう
どちまん
どつから
どづく
とっしょり
とつとかい
とばしり
とひよもない
どへん
とぼし

とぼづけ
とゆ
とりめ
どんじょ

【な】

なあえ
なあし
なえてかなん
なこじ
なぶりこね
なまづけない
なりのよい
なんやってるいな

【に】

にぎりべい

ちくはぐ
強く握って離さない
冷たい
茶粥
飯茶碗
どしゃぶり
のぼせ上がる
うんこ
ノート
傷あと
ちょうしりの
合い近く
ほんの少し

さすが
頭
頭痛がする
しゃがむ
つばめ
田舟にたまった水を汲み出
す道具
きちんと揃ったの
連れて行ってあげよ
直立不動の姿勢

客間
出来の悪い子ども
小皿
でくのぼう
手伝ってくれ
頂上
手のひらを皿代わりにする
お前達
まり
電球
いたち
山盛り
電柱
衣類
手をつく

絶対いやだ
徹底的
一生懸命
思い掛けない
魚の一種
どつから
強い力でたたく
老人
思い掛けない
はね
途方もない
へんくつ
夜、ガス灯をもって魚を捕
る漁法
糠味噌づけ
雨どい
収穫量
どじょう

ですね
ですね
力を落とす様子
隣近所
形の良く整ったもの
形してますか
ずばら
なぐさむ様子

手のひらで尻をつかむ

【ぬ】

ぬくいほ わらの穂先

【ね】

ねえや ねえお前
 ねごんぞ 根こそぎ
 ねぐさい 腐った匂い
 ねずみらず 戸箱
 ねちこい ねばっこい
 ねついじん ひつこい人・執念深い人
 ねっから 一向に
 ねてさい 寝ていなさい
 ねぶか ねぎ
 ねぶたい 眠い
 ねぶる なめる
 ねりにかむ 思いつる

【の】

のいせみさい 伸ばしなさい
 のいぼり 田の荒起こし
 のうた 前へつんのめる
 のえ 緩い勾配
 のくとい 暖かい
 のこりおい 心残りだ
 のぞ のど
 のつけ 初め
 のりすり 一生懸命・命がけ

【は】

はぎし 歯茎
 はくしゃみ くしゃみ
 はぐるま 乳母車
 はざける 一か所に寄せる
 はすっかい ななめ
 はちかる 足を大きく開く
 ぼっち ももひき
 はてる 終わる なくなる
 はなご はな緒
 はばき 女性の脚半
 ばば 大便
 はやて にわか雨
 はりあいな かいがあること
 はん はず

【ひ】

ひあらせ 南風
 ひざぼん ひざ
 ひだす 箕を使って風で選別する
 ひだるい 空腹
 ひつらこい ひつこい
 ひでり 晴天
 ひとつくべき ぬるま湯をわらを燃やし暖める

【ひ】

ひばこ コタツ
 ひまじん 暇な人
 ひやけ 忌明
 ひょうしのひよこたん 偶然
 ひよんなげな 不思議な
 ひんなか 半日
 ひんのま 昼寝

【ふ】

ふか靴 長靴
 ふくばば ひきかえる
 ふすべる ちよるちよる燃やす
 ふすぼったある 火が消えて、煙りだけ出ている
 ふちゃかす ひっくり返す
 ふらしともない 降らないでほしい

【へ】

へえぶ へび
 へえる ひる
 へくそなくそ ぼろくそ
 へすび 鍋や釜の底にできる灰
 へぞこ 形が整っていないこと
 へちりん 回り
 へなまぬるい なまぬるい

べべ
 へべつ
 へんねし

【ほ】

ほいさろ おんぶしてあげよう
 ほいたら そしたら
 ほうけ そうですか
 ほうさいね そうしなさいね
 ほうやぞな そうなんですよ
 ほうゆうもん そうゆうもの
 ほかす 捨てる
 ほころへん そのあたり
 ほしばんてん 赤ちゃんをおんぶする綿入り羽織

干しもん小屋

ほたつき 初干しの小屋
 ほっさん 田の畦作り
 ほてから お星様
 ほやわいな それから
 ほれみさい そうなのよ
 ほんこさん それみなさい
 ほんなこというたかて 報恩講
 ほんまやぞな そんな事言っても
 ほんじゃまあ 本当ですよ
 ほんでねえや それでは失礼します
 それでねえ

【ま】

まいげ 眉毛
 まかぼ まこも
 まぐれ タ方
 またいじん ちょっと物足りない人
 まだるい 目がだるい
 まだ ですよ
 まどろかしい くすぐずして邪魔になる
 間なし 間もなく
 まねほど ほんの少し
 まばゆい まぶしい
 まぶし まむし
 まま ご飯
 まめくじり なめくじ

【み】

みえが悪い 形が悪く醜い
 みっこっさん みこし
 みてみさい 見てみなさい
 みともない 醜い
 みんごと やっと

【む】

むさい むさくるしい
 むちゃゆわんすな 無理を言っではいけない
 むさんこうな 無茶苦茶な

【め】

めめず みみず
 めんた めす
 めんど 堰

【も】

もうもう 膝をついて四つんばいになる姿勢
 もずか 泥濘
 もちもはざけもならん どうにも仕方がない
 もんてござった 帰って来られた
 もんらい 帰りなさい
 もんりしない 帰る途中

【や】

やあとこせ 伊勢音頭
 やかな ひ弱な
 やぐさい 物が焼ける匂い
 やせぎす 痩せた細い体
 やつたる してあげよう
 やってるまで やってるよ
 やらん やん坊
 やらしい いやらしい
 やんちゃめる おてんば女の子

【ゆ】

ゆいだしべえ 発起人
 ゆうてくだんすな 言わないで下さい
 ゆっくり人 何をしても早くできない人
 ゆりご クズ米
 ゆんべ 昨夜

【よ】

よいまどろいの朝雀 早寝早起き
 ようなやほん ありがとう
 ようゆうてな 知らせて頂いてありがとう
 ようようの いるいるな
 ようまいさん どういたしまして
 ようゆわんわいな 言えませぬ
 よけのまい 員数外
 よごみ よもぎ
 よさり 夜
 よそいき 外出
 よそねえ よその家
 よだち タ立
 よったり 四人
 よばれてさんじまいさ およばれに参上しました
 よみにこむ 一心不乱
 よめり 嫁入り

【ら】

らあしい 粋な感じ
 らちのよい 丁度都合よく
 らる いる

【わ】

わいな ですよ
 わごんら お前たち
 わし 私
 わたこ 魚の名称
 わや むちゃくちゃ
 われ あなた
 わんらあ お前達

報恩講の布令 真宗

さんねの 一本目 ふれたれまっとくれ

天台宗

さんねの 念仏講 ふれたれまっとくれ

明治の中期頃までは

おぼんさんが参れた まっとおくれ
 芋や大根や まだある猿豆の粉吹き

* * *

以上、約500語を書き上げましたが、人にはそれぞれ物の見方や考え方、つまり価値観に相違があります。強い関心や興味をもたれる人もあれば、反対につまらぬ事だと一笑に付してしまわれる人もあると思いますが、そこは個人の見解の相違なのでそれはそれで結構です。

ところで、方言には方言特有のアクセント(節回し)があります。それを文字に表現できないのが残念ですが、どうにもいたしかたのない事です。

実は、小生、今年は傘寿(数え年80才)という人生の中でひとつの節目を迎えることができなかったので、その喜びと老人ボケの予防のため、暇つぶしに作成したものです。

輝かしいふるさとの歴史や文化を物語る時、何かの参考にしていただけたら無上の光栄に存じます。

ご愛読ありがとうございました。

道路の状況

資料)町企画広報課、土木建設課 / 平9.4.1現在

(単位: m)

| 県・町道別 | 総延長 | 舗装延長 | 舗装率 |
|----------|------------|------------|-------|
| 県道 総数 | 42,683.1 | 42,673.1 | 99.9 |
| 主要地方道 | 20,657.5 | 20,657.5 | 100.0 |
| 一般県道 | 22,025.6 | 22,015.6 | 99.9 |
| 町道 | 116,172.04 | 113,711.41 | 97.9 |
| 合計 | 158,855.14 | 156,384.51 | 98.4 |
| 町道 1 級路線 | 13,546.85 | 8 路線 | |
| 町道 2 級路線 | 16,103.68 | 12 路線 | |
| 町道その他路線 | 86,521.51 | 40 路線 | |
| 合計 | 116,172.04 | | |

町道路線名一覧

1 級

佐野・種線 / 佐野・猪子・能登川線 / 能登川高校線 / 中学校線 / 小川・林・能登川線 / 山路・小川・川南線 / 乙女浜・新宮線 / 須田線

その他

長勝寺線 / 神郷線 / 佐生線 / 佐野線 / 種線 / 今線 / 垣見線 / 本町線 / 猪子線 / 猪子佐野線 / 林線 / 能登川線 / 安楽寺線 / 須田線 / 伊庭線 / 山路線 / 跡光寺線 / 小川線 / 小川跡光寺線 / 小川線 / 小川国領線 / 川南線 / 阿弥陀堂線 / 新宮東線 / 新宮西線 / 乙女浜線 / 福堂線 / 栗見新田線 / 栗見新田栗見橋線 / 栗見出在家線 / きぬがさ線 / 大中線 / 栄町線 / 桜ヶ丘線 / 神郷23号線 / 小川13号線 / 泉台線 / 高岸台線

2 級

佐生・神郷・種線 / 種線 / 今・種線 / 能登川・須田線 / 須田・きぬがさ線 / 西小・城東線 / 伊庭・中洲線 / 井ノ口・新宮線 / 新宮線 / 新宮西線 / 乙女浜・干拓線 / 福堂・干拓線

県道名一覧

主要地方道大津・能登川・長浜線
 主要地方道彦根・近江八幡線
 主要地方道栗見・八日市線
 県道佐生・五個荘線
 県道佐生・今線
 県道福堂・今線
 県道柳川・能登川線
 県道伊庭・円山線
 県道栗見新田・安土線
 近江八幡・安土・能登川自転車道線(よし笛ロード)

都市計画道路名一覧

都市計画道路近江八幡能登川線
 都市計画道路能登川北部線
 都市計画道路 J R 東口線
 都市計画道路横川高校線
 都市計画道路役場前通り線
 都市計画道路 J R 西口線

信号機設置状況

資料)八日市警察署 / 平成 9 年 7 月 10 日調査

| 交差点名 | 所在地 | 設置日 | 夜間閃光時間 | 備考 |
|------------|--------------|-----------|--------|----------------------------------|
| 7 垣見 | 垣見684の1地先 | 昭43.7.10 | 0~6 | 昭60.3.28制御機交換 |
| 10 林 | 山路300地先 | 昭46.7.5 | 0~6 | 昭61.4.4制御機灯器配管交換 平9.4系統化、多現示化 |
| 12 能登川中学校前 | 山路2の1地先 | 昭47.8.25 | 0~6 | 平8.4.19歩行者用灯器3基増灯 |
| 18 今 | 今479地先 | 昭49.3.15 | 0~6 | |
| 20 能登川 | 能登川497地先 | 昭49.9.6 | 0~6 | |
| 27 能登川消防署前 | 佐野730地先 | 昭50.12.15 | | 押ボタン(閃光式) |
| 29 栗見新田 | 栗見新田352の2地先 | 昭50.12.15 | | 昭58.8.31定周期改良制御機取替 平8.11.29撤去 |
| 34 猪子 | 猪子426の1地先 | 昭52.11.21 | 0~6 | |
| 43 町民体育館前 | 山路603地先 | 昭55.11.20 | 0~6 | |
| 49 能登川北 | 能登川地先 | 昭57.4.5 | | 押ボタン(閃光式) |
| 54 佐野 | 佐野667地先 | 昭58.1.31 | 0~6 | |
| 61 大中 | 大中247地先 | 昭60.12.27 | 0~6 | |
| 63 種 | 種776地先 | 昭61.11.14 | | 平9.2閑散時半感応化改良 |
| 64 天神社西 | 垣見748の1地先 | 昭61.12.4 | | 一灯式 |
| 69 垣見北 | 垣見536の5地先 | 昭63.12.23 | | 押ボタン式(閃光式)予告信号有 |
| 75 水車橋 | 栗見新田1617の3地先 | 平3.4.12 | 0~6 | |
| 76 栗見新田北 | 栗見新田920地先 | 平3.7.5 | | 平6.1.21閑散時半感応化改良 |
| 78 山路 | 山路2425地先 | 平3.9.10 | 0~6 | |
| 80 小川 | 新宮159の1地先 | 平4.1.13 | 0~6 | |
| 94 能登川東小前 | 小川158の4地先 | 平7.11.17 | | 押ボタン(閃光式) |
| 96 八幡橋南詰 | 今1490の17地先 | 平8.2.22 | | 閑散時半感応 |
| 98 栗見出在家 | 栗見新田319の1地先 | 平8.11.29 | 0~6 | |
| 99 佐野北 | 佐野442の3地先 | 平9.2.28 | 0~6 | |

能登川町管内一級河川一覧

| 河川名 | 延長 | 上流端 | 下流端 |
|------|---------|----------------------------------------------------------|----------|
| 大同川 | 18.63km | 左岸 五個荘町大字伊野部字井ノ下 148 番地先 右岸 八日市市建部下野町字中王道 428 番地先 | 琵琶湖への流入点 |
| 瓜生川 | 8.25km | 左岸 五個荘町大字石馬寺字川端 526 番地先 右岸 五個荘町大字石馬寺字池ノ上 300 番地先 | 大同川への合流点 |
| 五位田川 | 2.42km | 左岸 能登川町大字今字三ノ坪 259 番の 1 地先 右岸 能登川町大字今字二ノ坪 257 番の 1 地先 | 大同川への合流点 |
| 山路川 | 3.10km | 左岸 能登川町大字佐野字山面 989 番地先 右岸 能登川町大字佐野字柳 767 番地先 | 瓜生川への合流点 |
| 跡光寺川 | 4.03km | 左岸 能登川町大字長勝寺字馬場 380 番地先 右岸 能登川町大字長勝寺字馬場 381 番の 2 地先 | 大同川への合流点 |
| 須田川 | 3.41km | 左岸 能登川町大字北須田字川上 733 番地先 右岸 能登川町大字北須田字川上 734 番地先 | 瓜生川への合流点 |
| 愛知川 | 41.05km | 永源寺町大字黄和田字大川 33 番の 1 地先の取水施設 | 琵琶湖への流入点 |

能登川町総合文化情報センターの概要

施設用途：図書館・博物館・埋蔵文化財センター

敷地面積：23,156㎡(用地買収面積)

延床面積：図書館・博物館部 4,051.1㎡
屋外駐輪場 72.0㎡
屋外便所 31.4㎡
埋蔵文化財センター 1,764.2㎡

構造：鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造

外部仕上：屋根 銅板瓦棒葺き及びいぶし銀瓦葺き
外壁 セツ器質タイル

資金：図書館・博物館

地域総合整備事業債 まちづくり特別対策事業分(総合事業)

個性あるまちづくり市町村事業費補助金(県費)

：埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センター建設費国庫補助金

埋蔵文化財センター建設費県費補助金

図書館

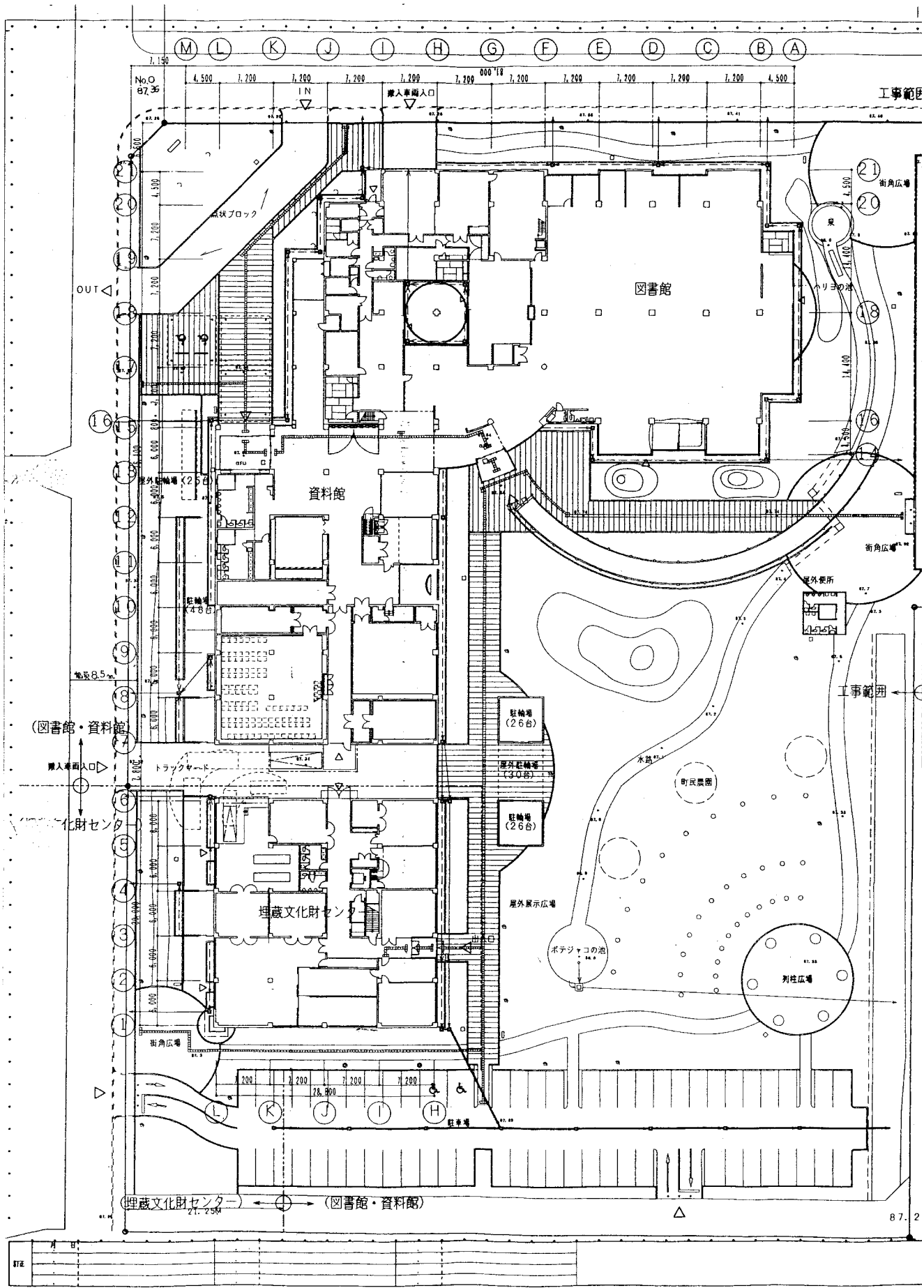
| 部門構成 | 主要構成スペース | 実施面積 | 備考 | |
|-----------------|---------------|----------------|---------------------------------|--|
| 利用部門 | | | | |
| 玄関ホール | 風除室 | 126.1 | ブックポストを設置 電話コーナー (博物館と共用) | |
| 中央サービス | 休憩・喫煙・喫茶コーナー | 70.3 | 厨房セットを含む | |
| | 総合カウンター | 68.9 | | |
| 開架 | レファレンス・デスク | | | |
| | 目録・検索スペース | | | |
| | ブラウジング | 新聞・雑誌・軽読書 | 96.3 | |
| | 成人開架 | 一般図書 | 631.4 | |
| | 参考図書 | 参考図書 | 191.6 | |
| | 地域資料 | 地域資料 | | |
| 青少年開架 | 青少年用資料 | 30.6 | | |
| 児童開架 | 児童サービスデスク | 277.2 | | |
| | 児童開架 | | | |
| | お話し室 | | | |
| 視聴覚サービス | 視聴覚コーナー | 32.5 | 4ブース | |
| | 視聴覚資料 | | | |
| 障害者サービス | 朗読室・録音室 | 14.1 | | |
| 集会・展示 | 集会ホール | 136.8 | 机使用時50人、椅子 のみの場合100人収容 | |
| | 小会議室 | 22.9 | 調整室・備品倉庫を含む | |
| | 展示スペース(ギャラリー) | 306.4 | スライディングボード | |
| | (小計) | (2,005.1) | (博物館と共用) | |
| 保存部門(書庫) | | | | |
| | | (205.3) | 2階 集密書架 | |
| 事務部門 | | | | |
| 館外活動 | 館外奉仕作業 | 59.2 | BM書庫61.9㎡を除く | |
| 事務・管理・業務 | 応接 | 119.6 | 製本準備を含む | |
| | 貸出業務 | | | |
| | 整理作業 | | | |
| | 選書作業 | | | |
| | 一般管理事務 | | | |
| | コンピュータ | | | |
| | メール荷解・配送 | | | |
| | ボランティア活動室 | | | |
| 職員用諸室 | 職員休憩 | 43.2 | 厨房セットを含む | |
| | 更衣室・ロッカー | 14.6 | 博物館と共用 | |
| | 派遣員等詰所 | 18.8 | 掃除等備品庫を含む | |
| | (小計) | (255.4) | | |
| 合計 | | 2,465.8 | | |

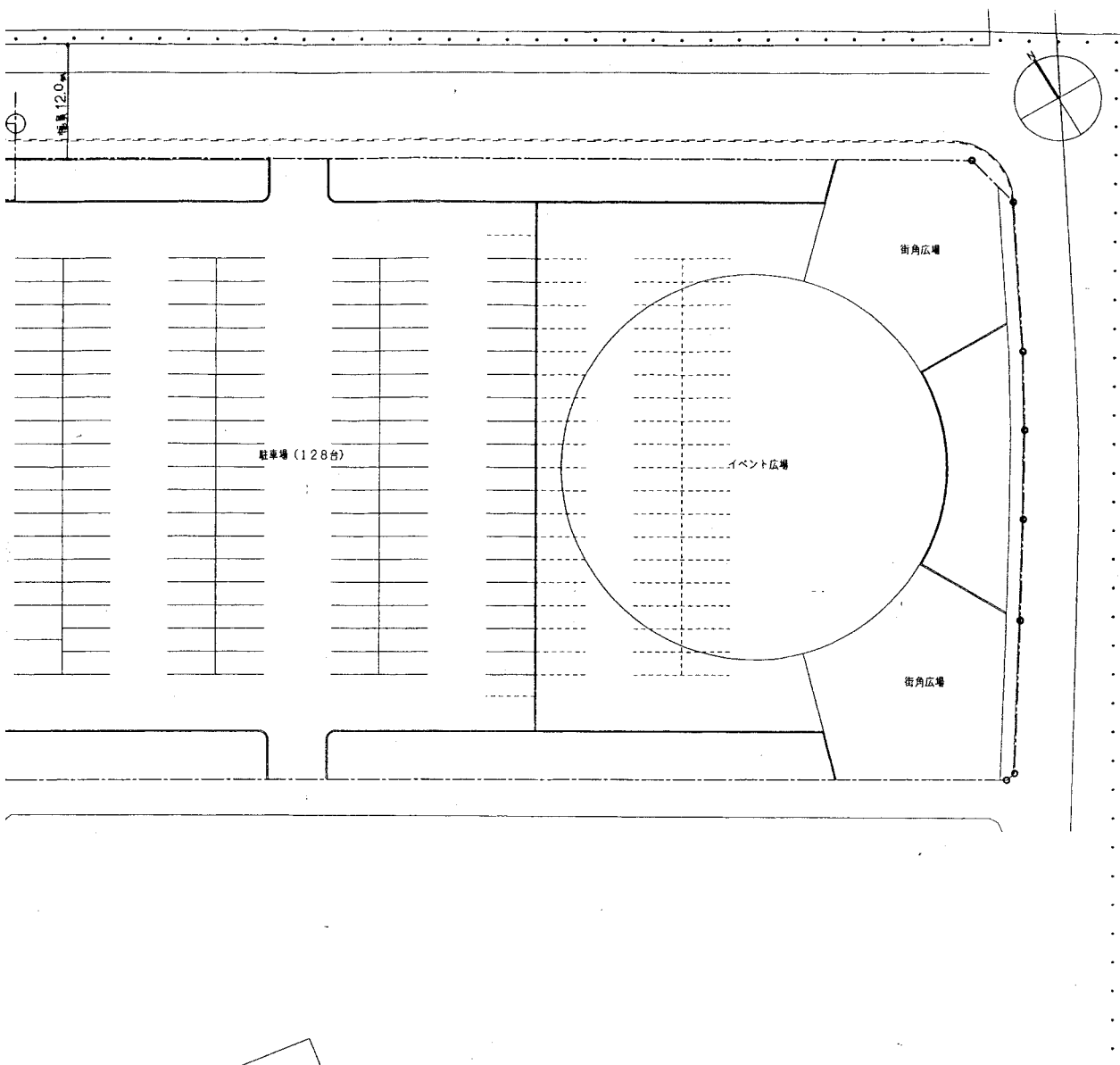
博物館

| 部門構成 | 主要構成スペース | 実施面積 | 備考 |
|-------------------|----------------------------------------|----------------|------------------|
| 発見・発信・交流部門 | | | |
| 玄関ホール | 風除室 玄関ホール | | 図書館と共用 |
| 発信・展示スペース | 展示室 | 66.0 | ギャラリー-306.4 |
| | 展示準備室 | 49.8 | |
| 参加・交流スペース | 体験学習室 | 95.6 | パーティションにより2室に分割可 |
| | 体験学習準備室 | 8.4 | |
| | 講座室 | | |
| | (小計) | (219.8) | |
| 調査・研究部門 | | | |
| | 学芸員研究室 | | 事務室に含む |
| | 共同研究室 | 28.0 | |
| | 書庫・記録保管室 | 26.8 | |
| | 写場・暗室 | | 埋蔵文化財整理部分に含む |
| | (小計) | (54.8) | |
| 収蔵庫部門 | | | |
| | 一般収蔵庫・収蔵庫 | 269.9 | 第1一般収蔵庫 217.9㎡ |
| | 特別収蔵庫 | 39.2 | 第2収蔵庫 52.0㎡ |
| | 燻蒸室 | | |
| | (小計) | (309.1) | |
| 事務部門 | | | |
| 事務室 | 館長・応接 一般管理事務 コンピュータ | 95.8 | |
| 職員用諸室 | ボランティア活動室 職員休憩 更衣室・ロッカー 派遣員詰所 | | 図書館職員と共用 |
| 搬入・搬出・荷解室 | | | |
| | (小計) | (95.8) | |
| 合計 | | 679.5 | |
| 図書館・博物館共用部 | | | |
| その他のスペース | 機械・電気 廊下・階段・便所等 | 270.5 635.3 | |
| | 合計 | 905.8 | |
| 図書館・博物館共用部 | 合計 | 4,051.1 | |
| 屋外駐輪場 | | 72.0 | |
| 屋外便所 | | 31.4 | |
| 合計 | | 103.4 | |
| 総計 | | 4,154.5 | |

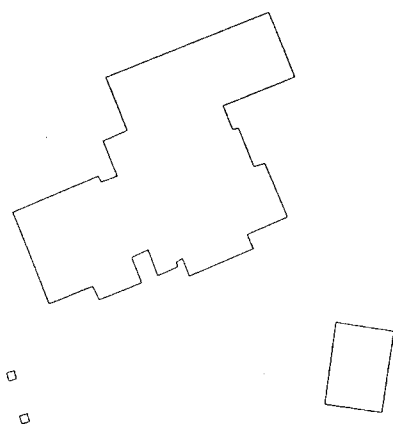
埋蔵文化財センター

| 部門構成 | 主要構成スペース | 実施面積 | 備考 |
|----------|-----------|---------|------------------|
| 収蔵庫 | 収蔵庫 1 | 115.4 | 木器類、水槽設置 |
| | 収蔵庫 2 | 725.2 | 土器・石器類 |
| | 特別収蔵庫 | 93.6 | |
| | 仮収蔵庫 | 43.6 | 仮置用スペース |
| | (小計) | (977.8) | |
| 整理スペース | 整理室 | 231.5 | パーティションにより3室に分割可 |
| | 記録保管室 | 45.7 | |
| | 写場 | 45.7 | |
| | (小計) | (322.9) | |
| 普及スペース | 展示コーナー | 9.1 | パーティションにより2室に分割可 |
| | 学習室 | 91.9 | |
| | 情報・図書室 | 47.9 | |
| | (小計) | (148.9) | |
| その他のスペース | 管理室 | 25.1 | |
| | 会議室 | 45.4 | |
| | 廊下・便所・湯沸室 | 244.1 | |
| | 機械・電気 | | |
| | (小計) | (314.6) | |
| | 合計 | | 1,764.2 |





総合文化情報センター配置図



| | | | | | |
|---------------------|---------------|---------------------|-----------------------------------|-----|----------|
| 設計者 株式会社 建築設計事務所 | 作成日 96.1.8 | 設計者 株式会社 建築設計事務所 | 古本館 川町総合文化情報センター建設工事 (図書館・資料館) | 設計者 | 図番 10 |
| | 発行 | | | 担当者 | |